

SharpShooter Reports.Web ReportingEngine の設定

Last modified on: November 15, 2012

※本ドキュメント内のスクリーンショットは英語表記ですが SharpShooter Reports JP(日本語版)では日本語で表示されます。



目次

はじめに.....	3
手順 1. プロジェクトを作成する.....	3
手順 2. アセンブリ参照の追加.....	4
手順 3. ReportingEngine クラスの追加.....	6
手順 4. データソースの追加.....	7
手順 5. データソースにデータを追加する.....	10
手順 6. レポートスロットを追加する.....	11
手順 7. ウィザードを使ったレポート作成.....	15
手順 8. レポート設定.....	18
手順 9. ナビゲーションの追加.....	20

はじめに

このマニュアルは、サーバーの部分を実装するクラスの基本的な作成手順について説明します。このサーバーの部分は **SharpShooter Reports.Web** の使用に必要で、本コンポーネントを使用するために必要な最低限のスキル（以下）を提供します。

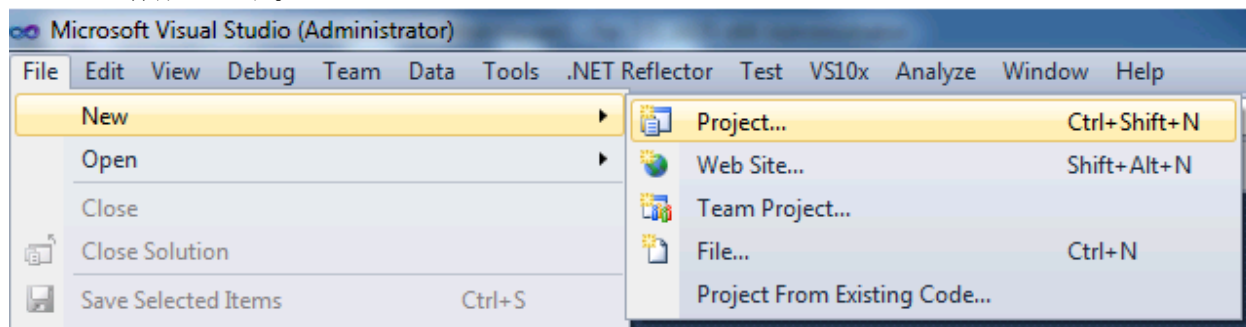
- プロジェクトにクラスを追加
- クラスの設定
- Dataset の追加
- “ReportManager” の追加
- データソースの追加
- レポート作成

ASP.NET 空の Web アプリケーションのプロジェクトを基にしてクラスの作成を行っていきます。このアプリケーションの手順は、以下のプロジェクトの手順と似ています。

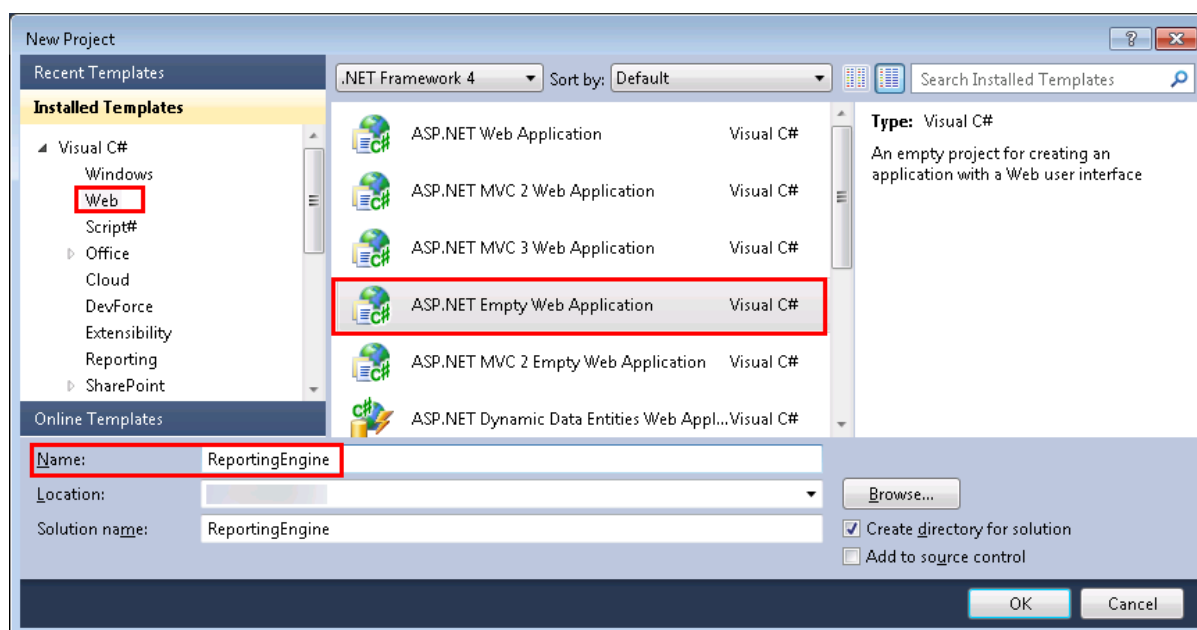
- ASP.NET Web アプリケーション
- ASP.NET MVC Web アプリケーション

手順 1. プロジェクトを作成する

Visual Studio の [ファイル|新規作成|プロジェクト] メニューを選択して、ASP.NET 空の Web アプリケーションを作成します。



プロジェクトの一覧から「ASP.NET 空の Web アプリケーション」を選択し、「名前」フィールドに「ReportingEngine」と入力します。

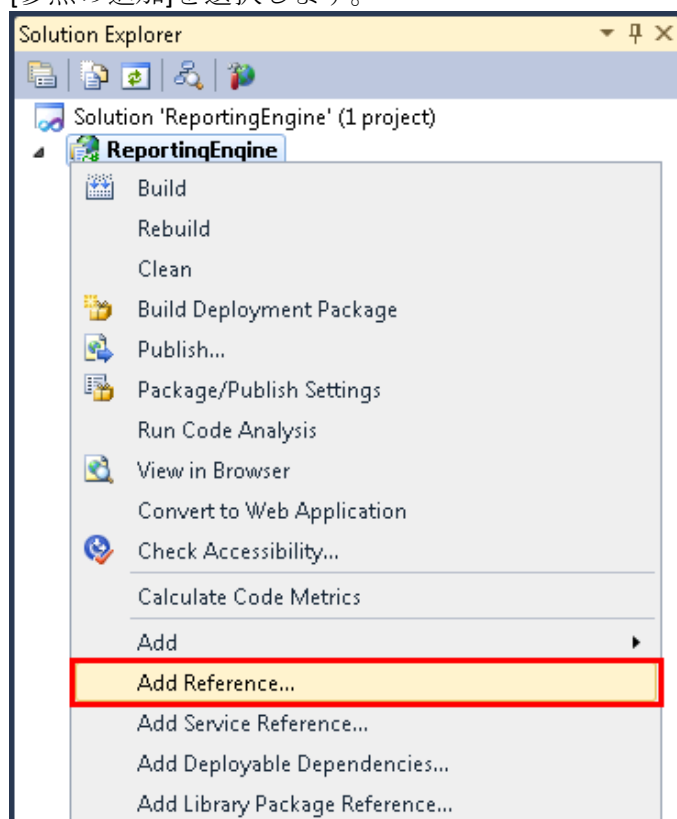


手順 2. アセンブリ参照の追加

プロジェクトに次のアセンブリ参照を追加します。

- PerpetuumSoft.Reporting.WebViewer.Model.dll
- PerpetuumSoft.Reporting.WebViewer.Server.dll
- System.ServiceModel.dll

ソリューションエクスプローラの ReportingEngine プロジェクトを選択し、コンテキストメニューから [参照の追加] を選択します。



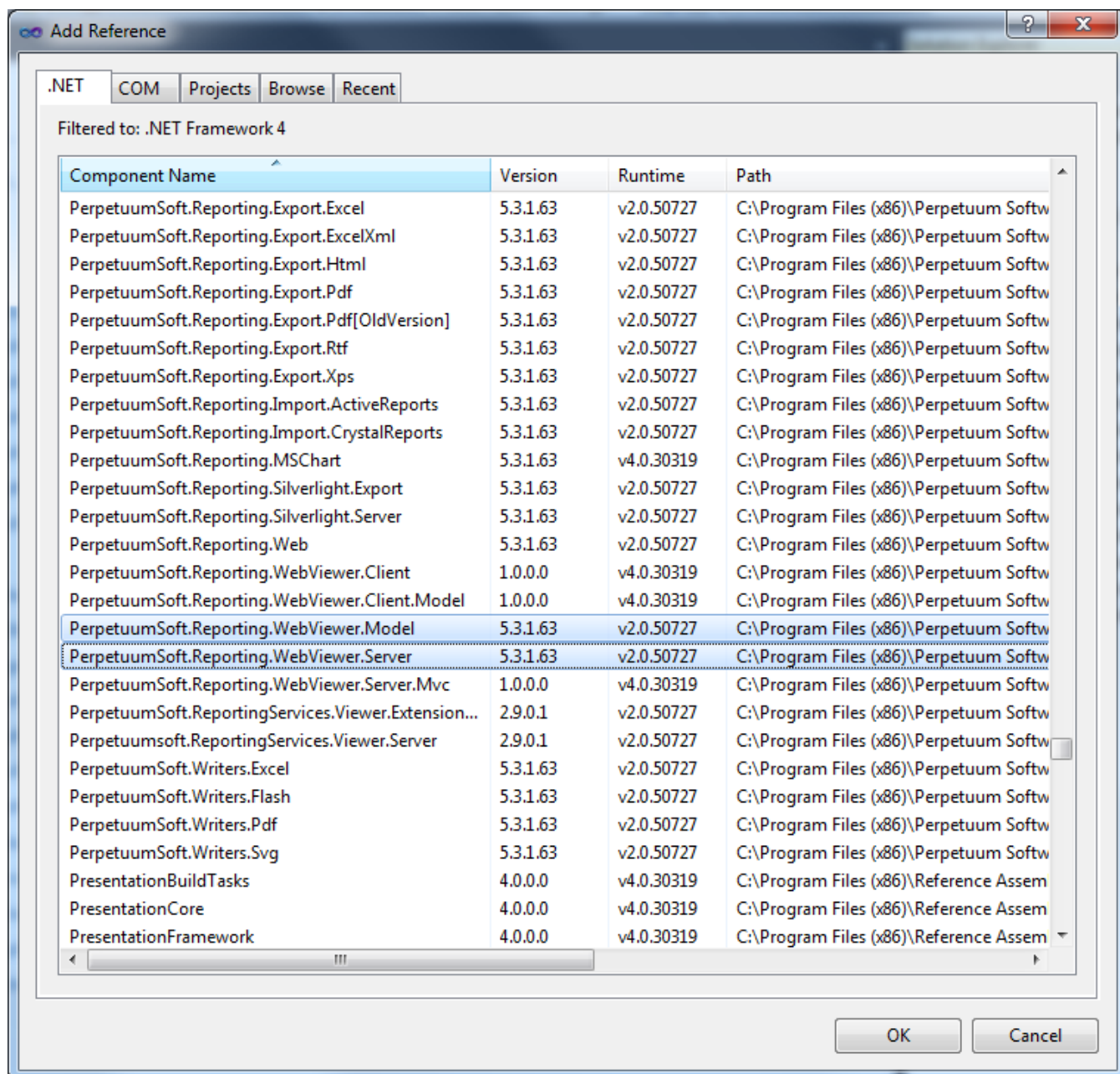


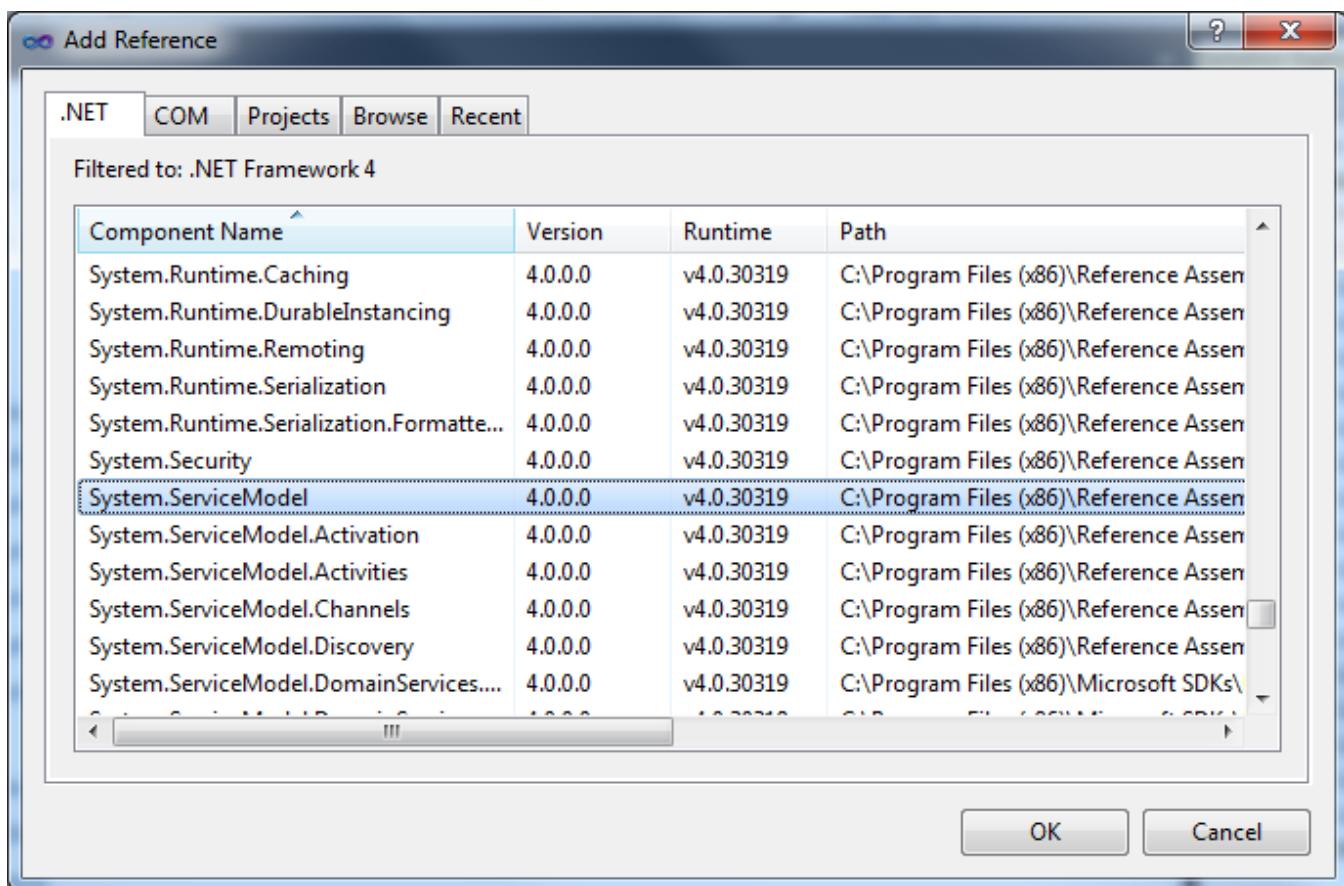
次の dll ファイルを選択します。

PerpetuumSoft.Reporting.WebViewer.Model.dll

PerpetuumSoft.Reporting.WebViewer.Server.dll

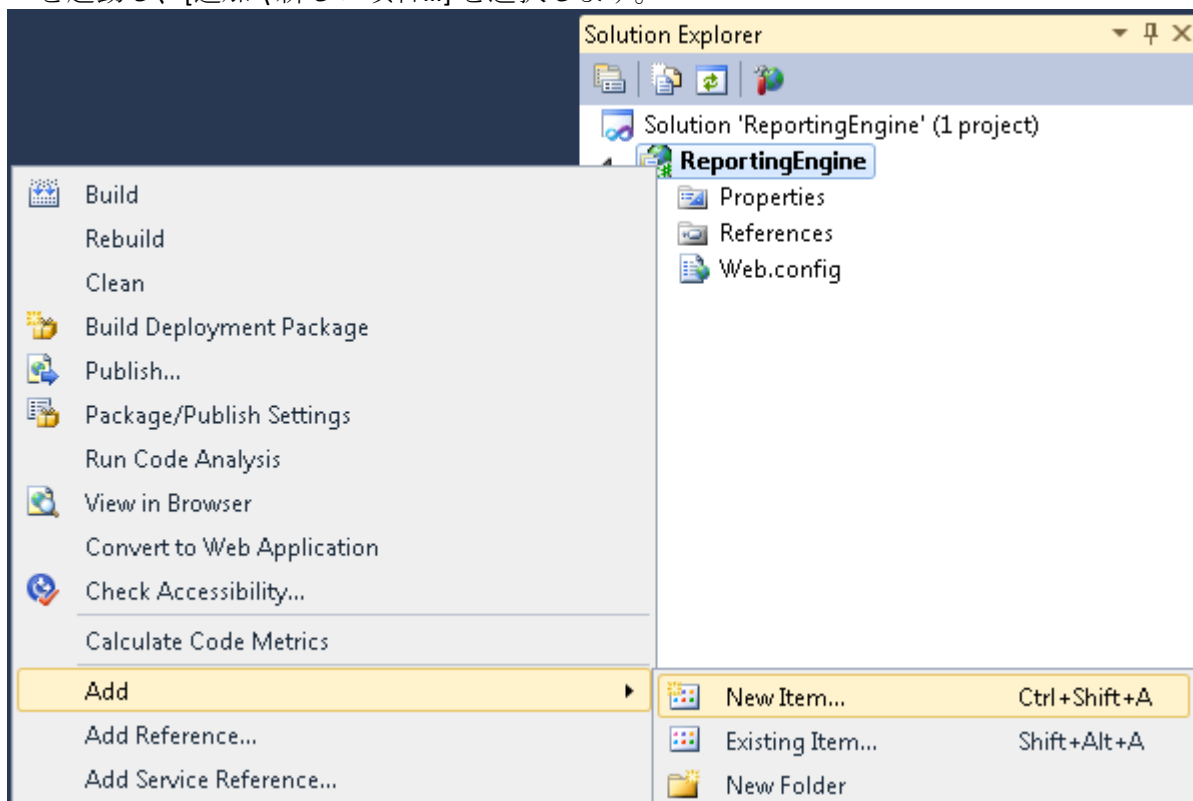
System.ServiceModel.dll



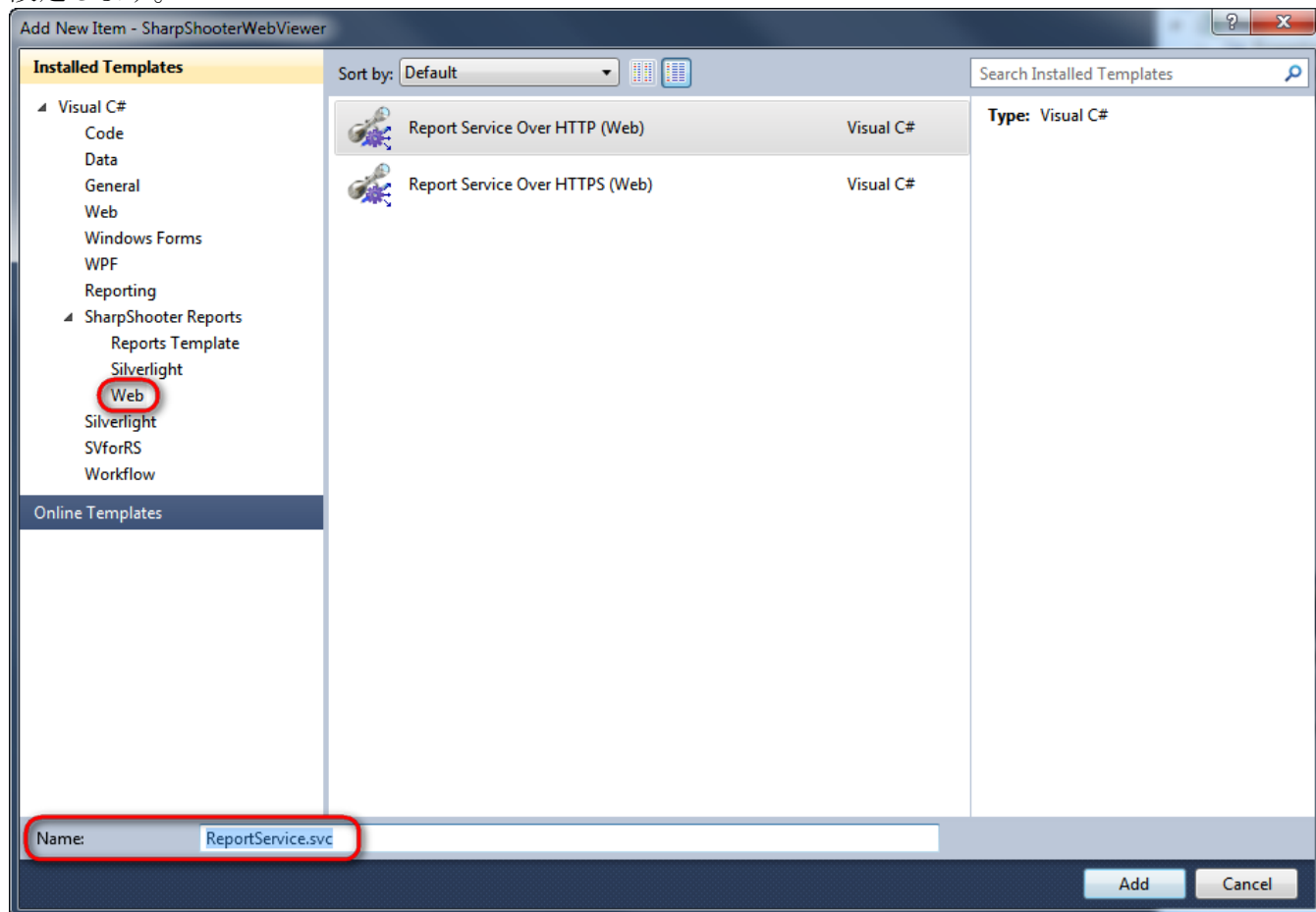


手順 3. ReportingEngine クラスの追加

プロジェクトにレポートサービスを追加します。ReportingEngine プロジェクトのコンテキストメニューを起動し、[追加 \ 新しい項目...] を選択します。

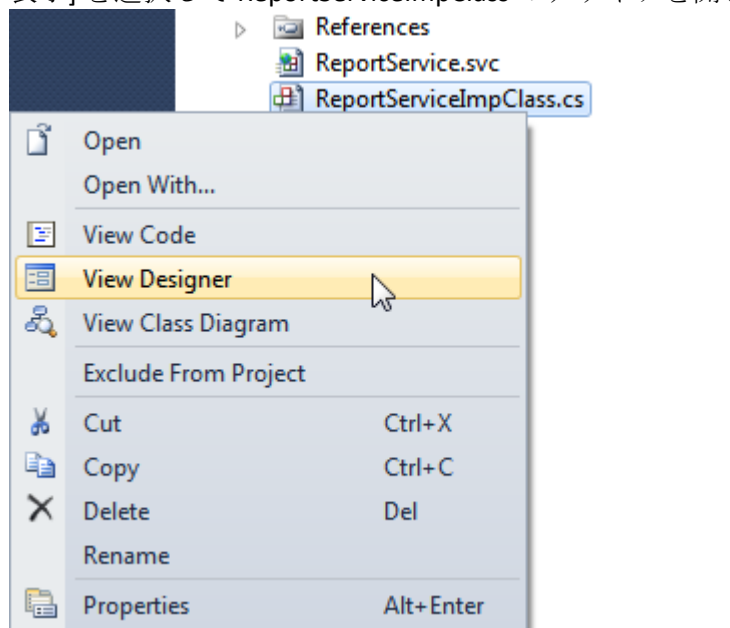


Report Service Over HTTP (Web) を選択し、「名前」フィールドに「ReportService」というサービス名を設定します。

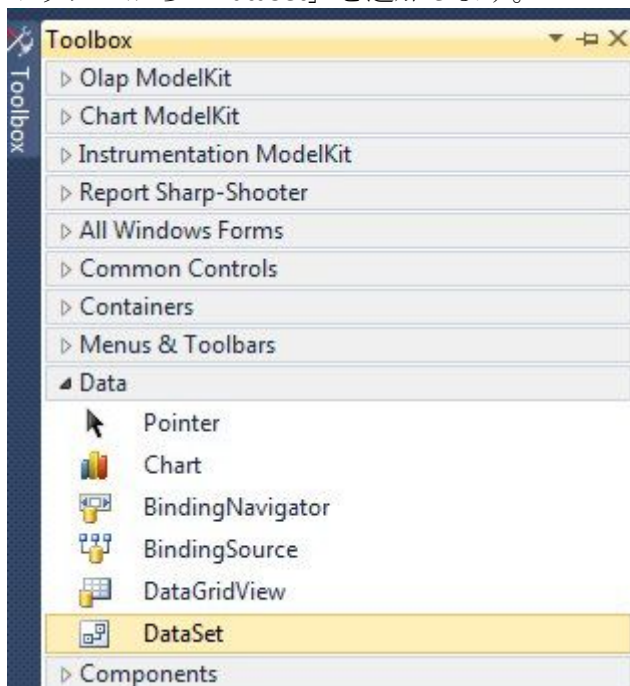


手順 4. データソースの追加

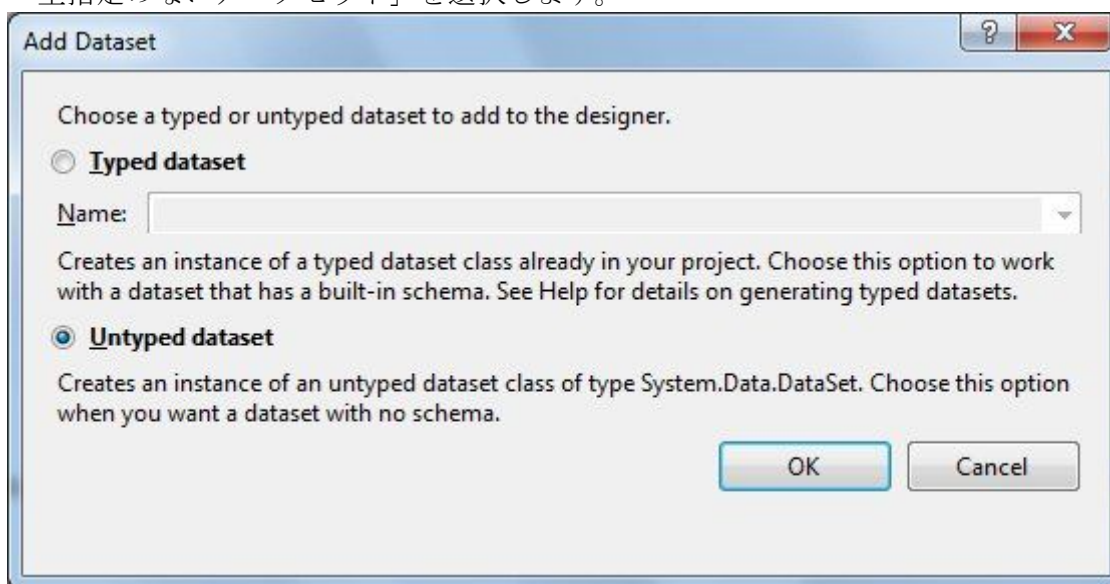
ソリューションエクスプローラの ReportServiceImpClass.cs のコンテキストメニューから [デザイナーの表示] を選択して ReportServiceImpClass のデザイナを開きます。



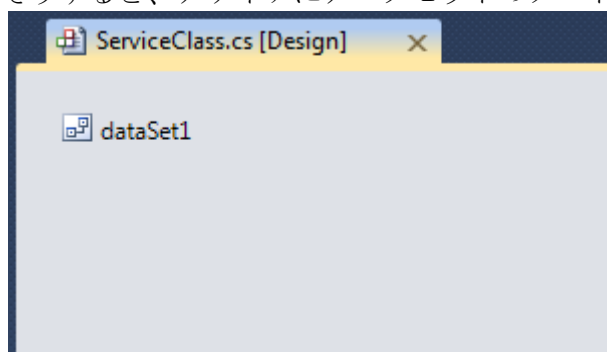
まず、データソースの構造を作成します。（ツールボックスの DataSet をダブルクリックして）ツールボックスから「DataSet」を追加します。




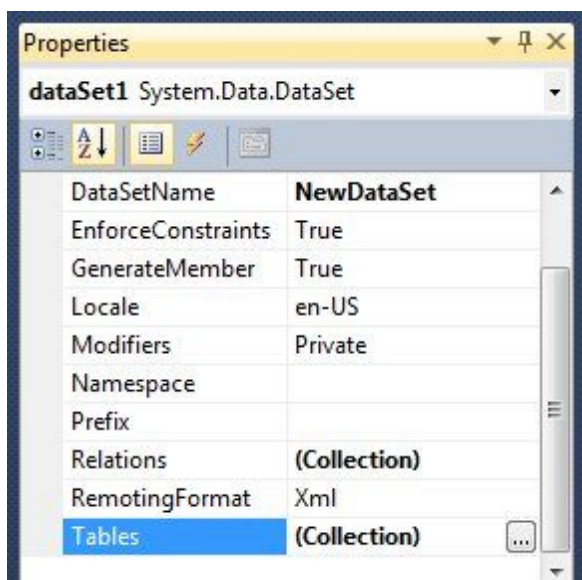
「型指定のないデータセット」を選択します。



そうすると、デザイナーにデータセットのノード（dataSet1）が表示されます。

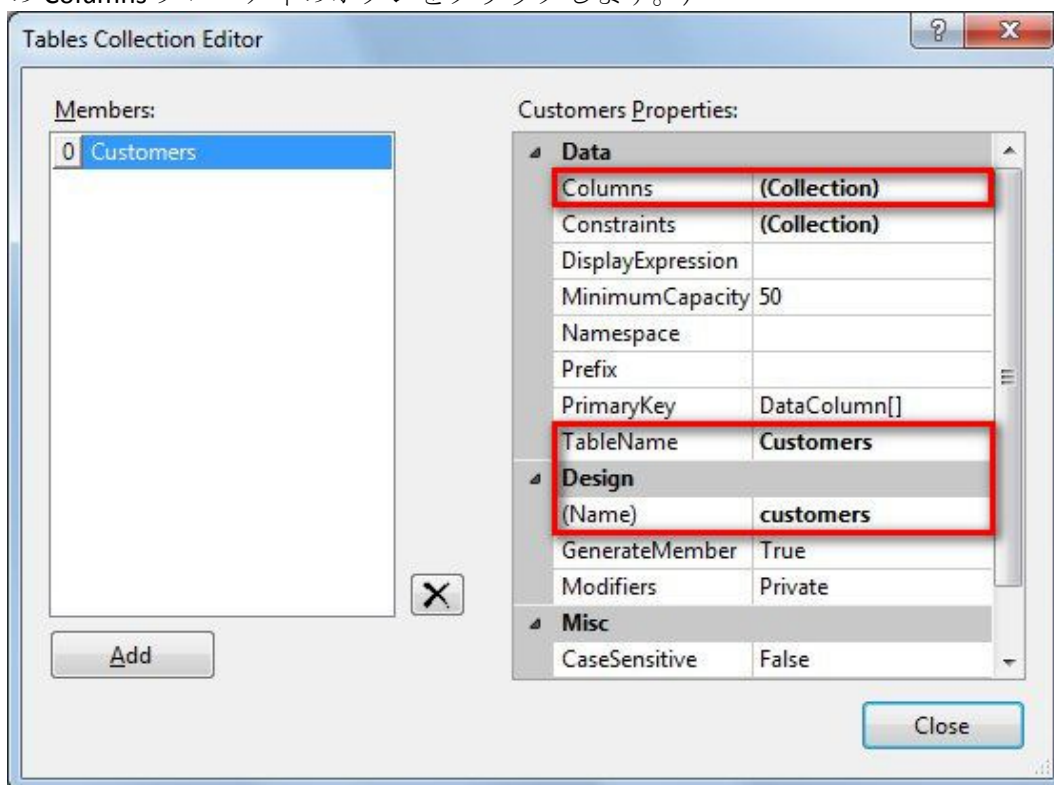


(Tables プロパティの  ボタンをクリックして) テーブルコレクションエディタを開きます。

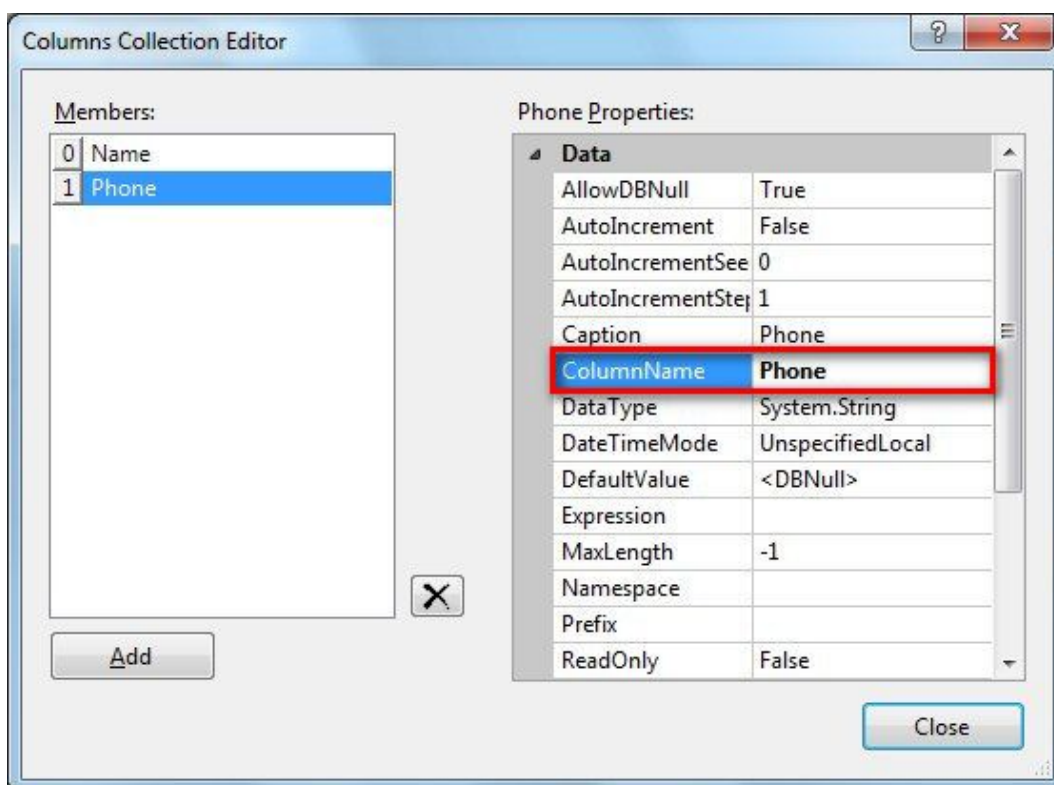


dataSet1 に「Customers」テーブルを追加します。（「追加」ボタンをクリックして、TableName プロパティを「Customers」にし、Name プロパティを「customers」にします。）

次に、列コレクションエディタを開きます。（テーブルコレクションエディタのプロパティグリッドの Columns プロパティのボタンをクリックします。）

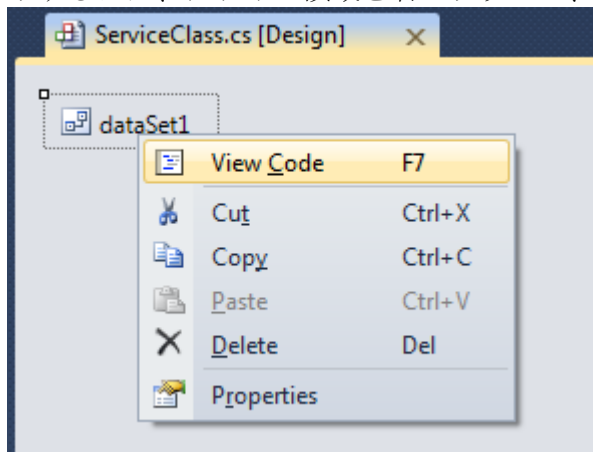


「追加」ボタンをクリックして列を 2 つ追加し、ColumnName プロパティを「Name」と「Phone」にします。



手順 5. データソースにデータを追加する

データ構造の定義が済んだので、Customers テーブルにデータを代入していきます。ソースコードを表示するには、デザイナー領域を右クリックし、コンテキストメニューの[コードの表示]をクリックします。



using ディレクティブを使用して、“ReportServiceImpClass” に “System.Collections.Generic” 名前空間と “System.Data” 名前空間を追加します。

```
using System.Collections.Generic;
using System.Data;
```

ServiceClass クラスの OnLoadData メソッドをオーバーライドして、データソースに値を代入してください。

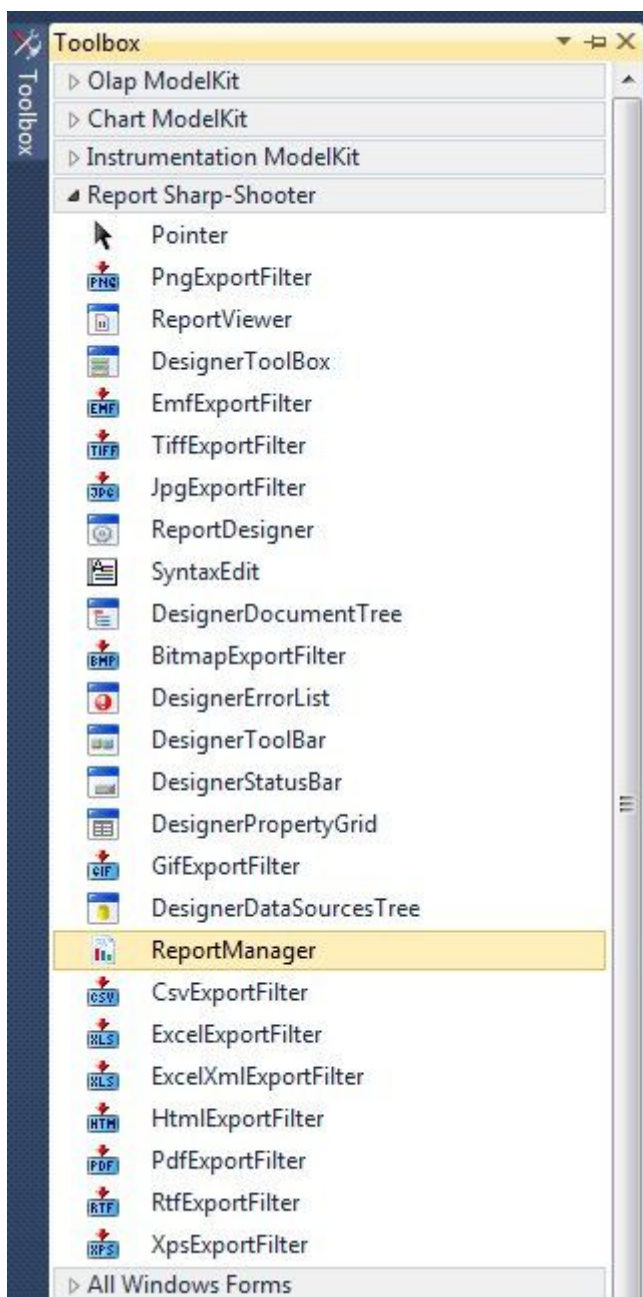
```
protected override void OnLoadData(IDictionary<string, object> parameters, string reportName,
PerpetuumSoft.Reporting.Components.ReportSlot reportSlot)
{
    base.OnLoadData(parameters, reportName, reportSlot);
}
```



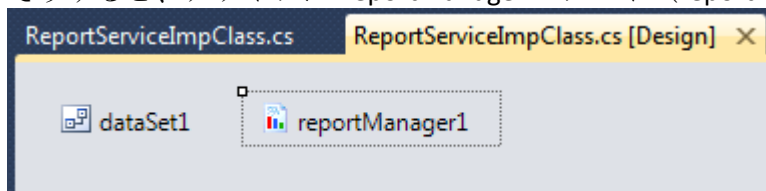
```
DataRow row = customers.NewRow();  
row["Name"] = "Johnson Leslie";  
row["Phone"] = "613-442-7654";  
customers.Rows.Add(row);  
row = customers.NewRow();  
row["Name"] = "Fisher Pete";  
row["Phone"] = "401-609-7623";  
customers.Rows.Add(row);  
row = customers.NewRow();  
row["Name"] = "Brown Kelly";  
row["Phone"] = "803-438-2771";  
customers.Rows.Add(row);  
}
```

手順 6. レポートスロットを追加する

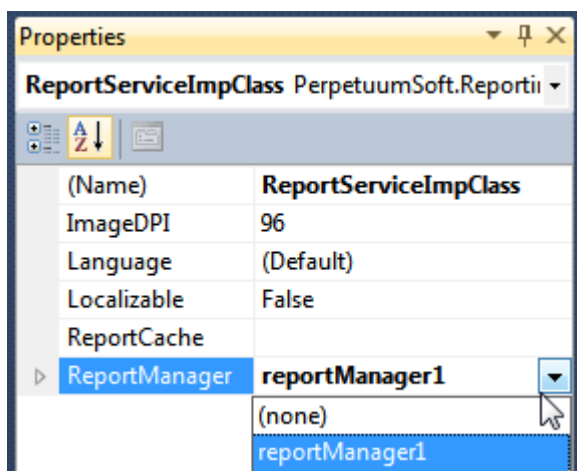
では、（ツールボックスの“ReportManager”をダブルクリックして）ReportManager コンポーネントを追加します。このコンポーネントがレポート生成を行います。



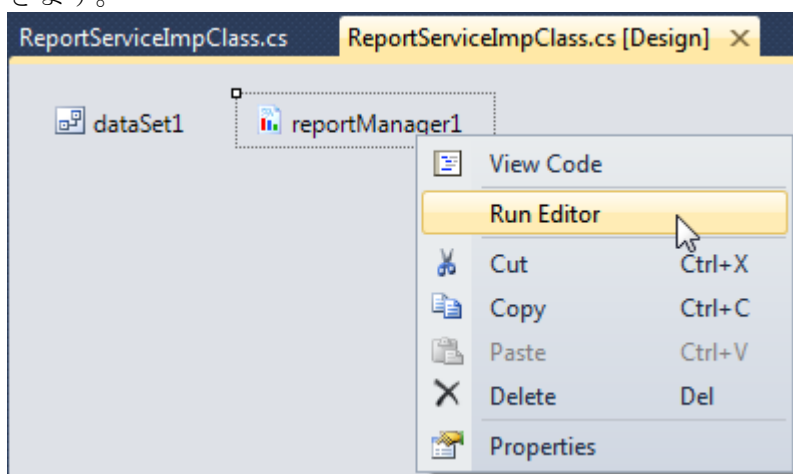
そうすると、デザイナーに ReportManager のノード (reportManager1) が表示されます。



ReportServiceImpClass クラスの ReportManager プロパティを設定します。それには、[プロパティ]ウィンドウの ReportServiceImpClass のプロパティを開いて、ReportManager プロパティの一覧から「reportManager1」を選択します。

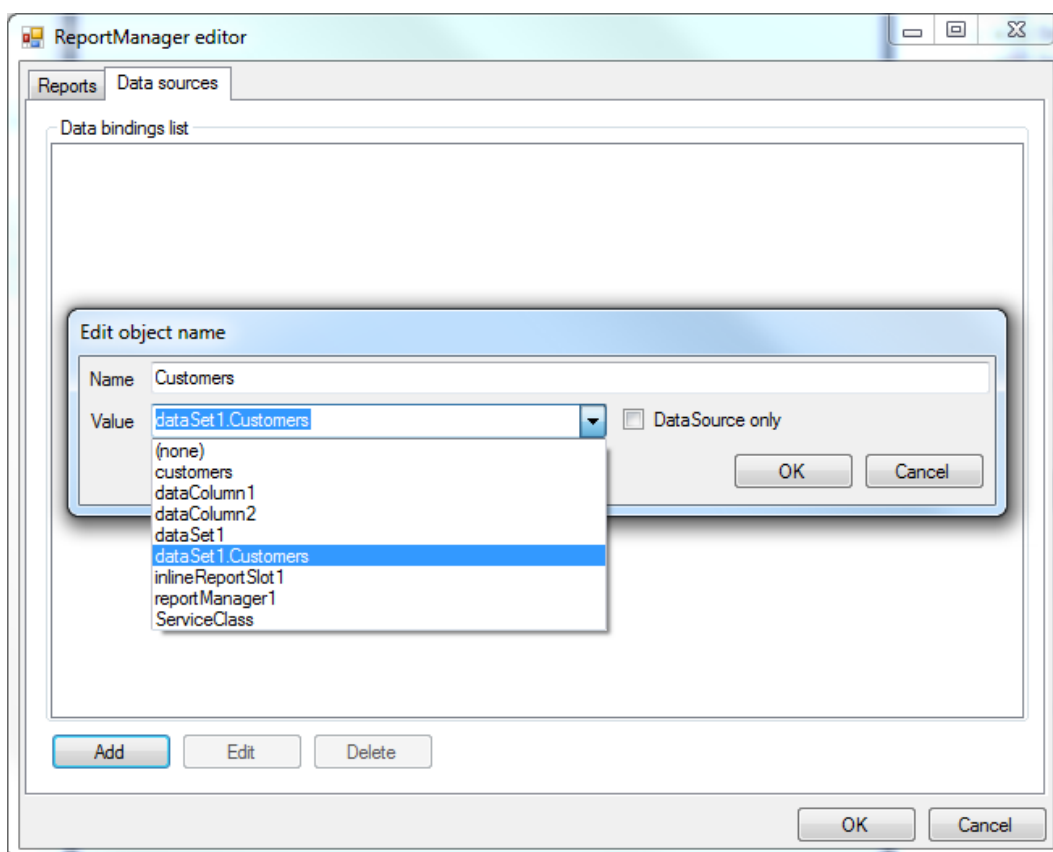


「reportManager1」を右クリックして「エディタの起動」を選択して、Report Managerのエディタを開きます。

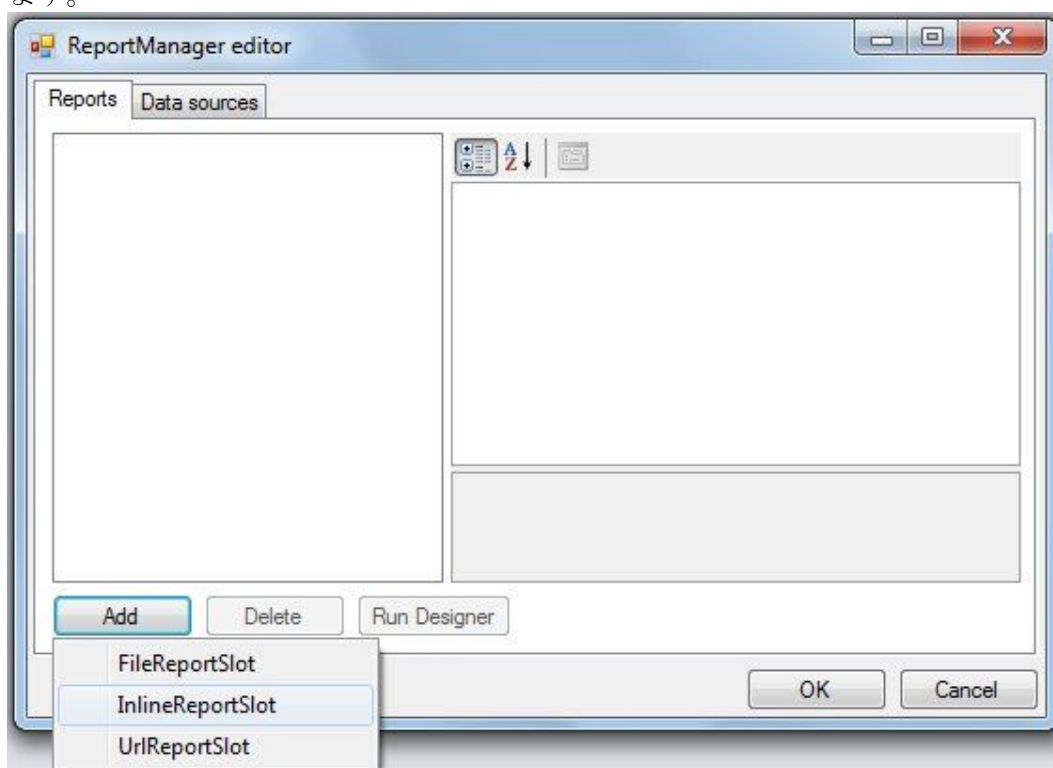


レポートテンプレートを作成する前に、レポートを生成するデータソースを追加します。

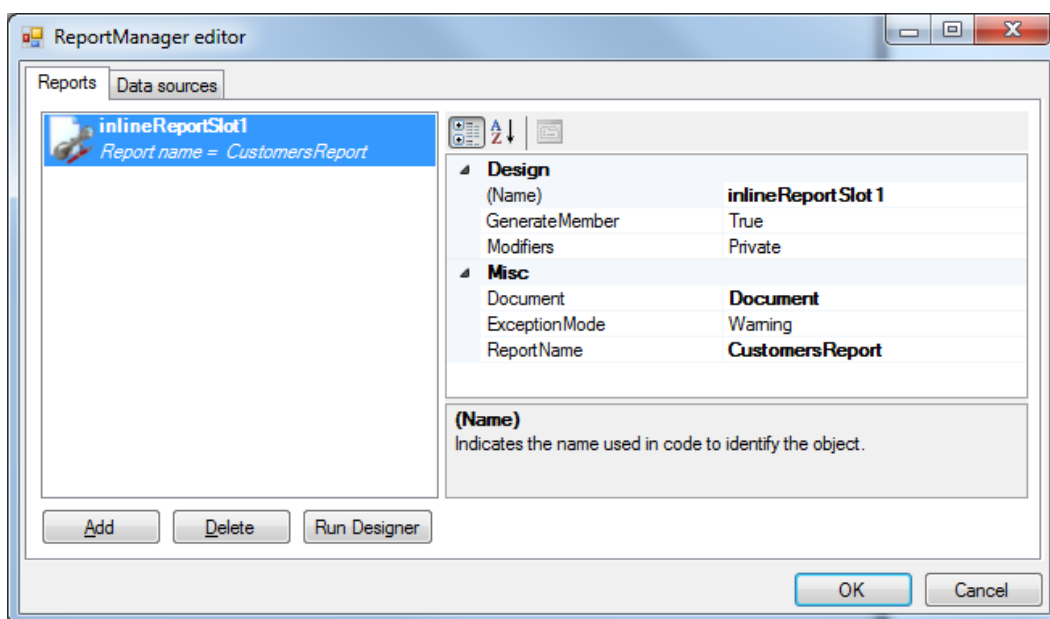
「データソース」タブのデータバインドリストに「Customers」テーブルを追加します。（「追加」ボタンをクリックすると表示される「オブジェクト名の編集」ダイアログの「名称」を「Customers」に、「値」コンボボックスから「dataSet1.Customers」を選択します。）



「レポート」タブの「追加」ボタンをクリックして、新しいオブジェクト「InlineReportSlot」を追加します。

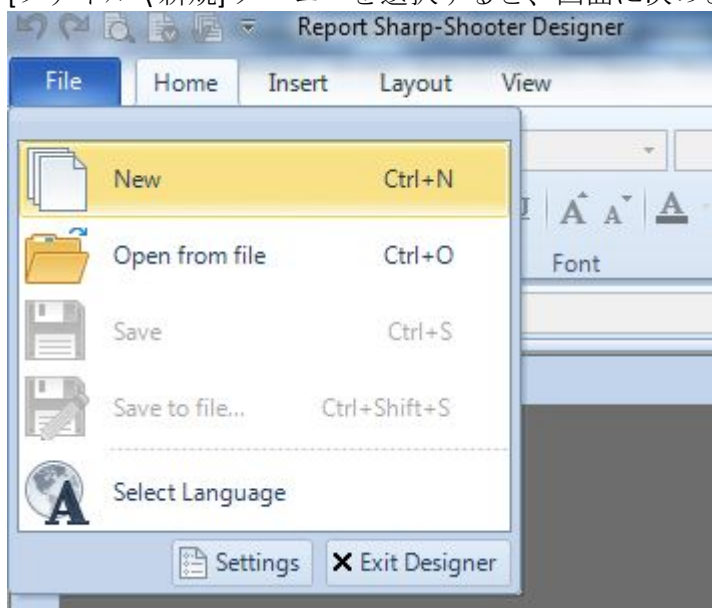


ReportName プロパティを「CustomersReport」に設定します。後でレポートマネージャからその名前でドキュメントを取得します。では、「デザイナーの起動」ボタンをクリックしてレポートデザイナーを起動します。

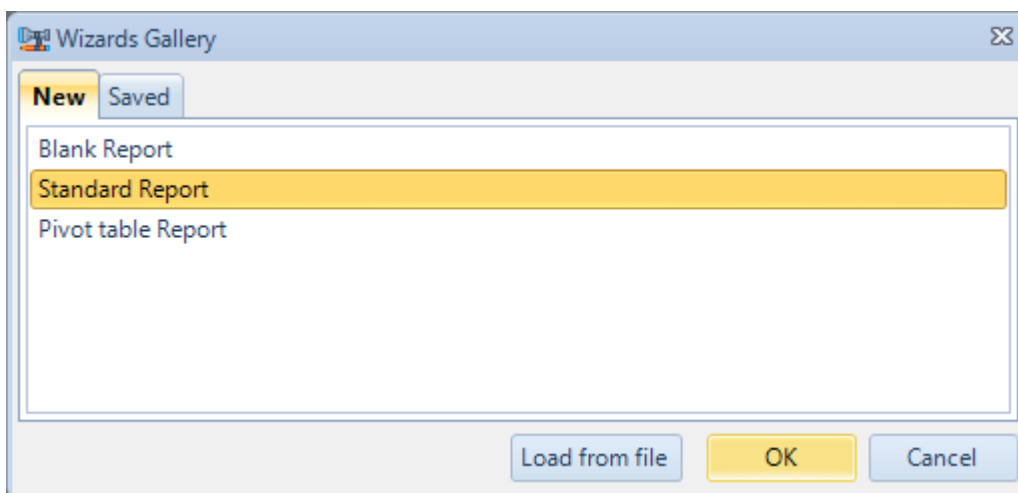


手順7. ウィザードを使ったレポート作成

[ファイル\新規]メニューを選択すると、画面に次のようなフォームが表示されます。

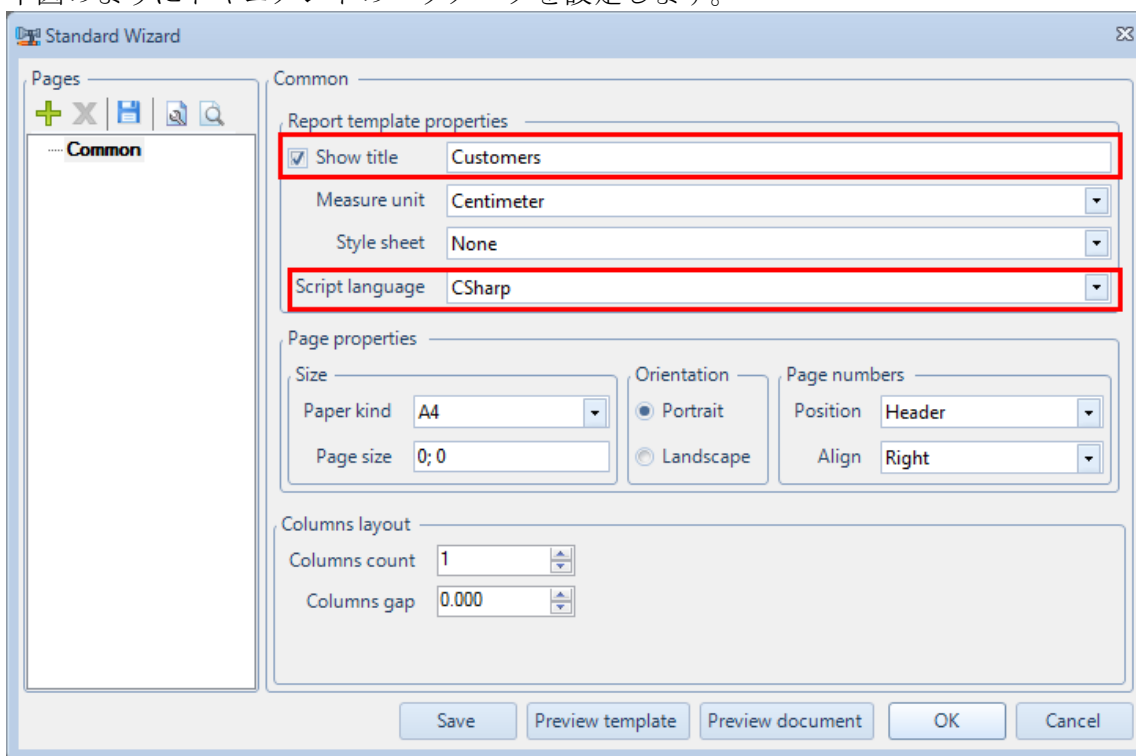


「新規」タブの一覧から「標準のレポート」を選択し、「OK」ボタンを押します。

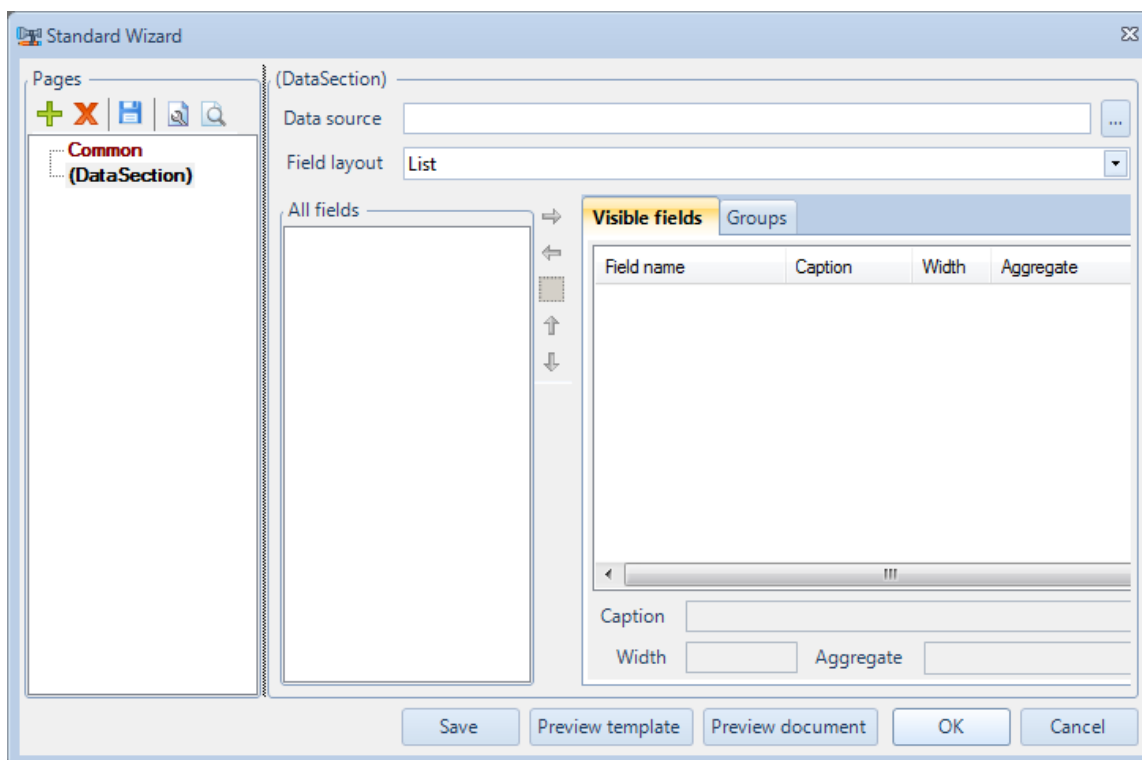


画面に「スタンダードウィザード」が表示されます。

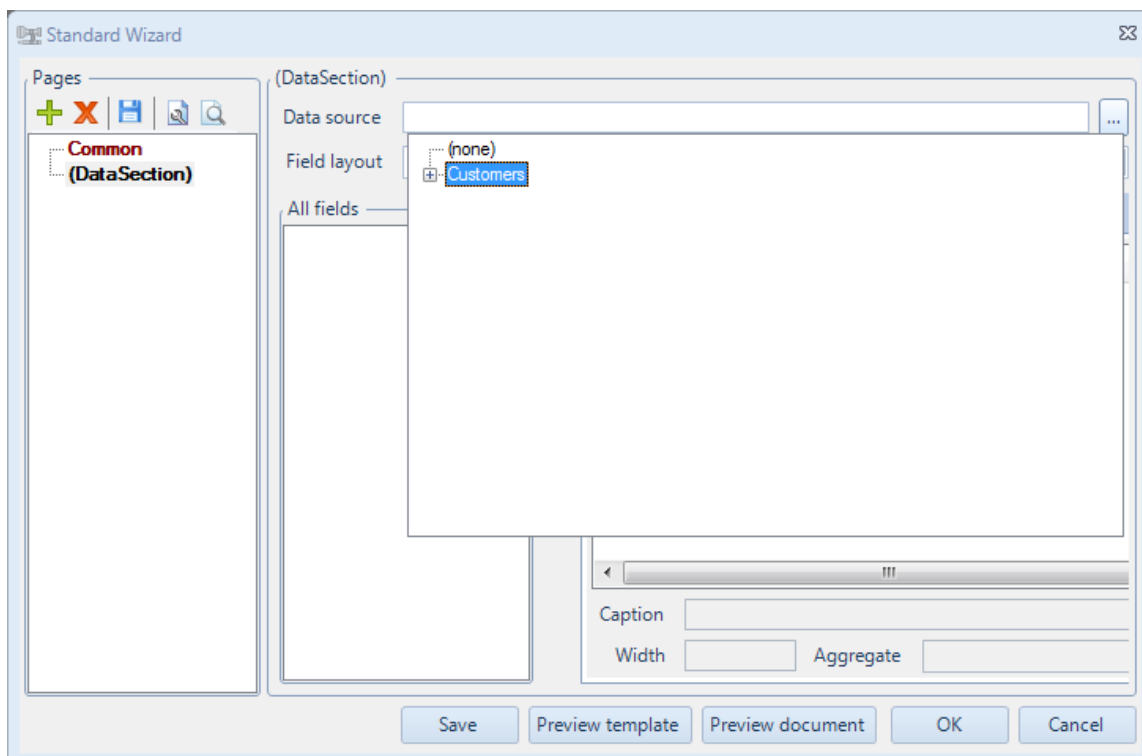
下図のようにドキュメントのパラメータを設定します。



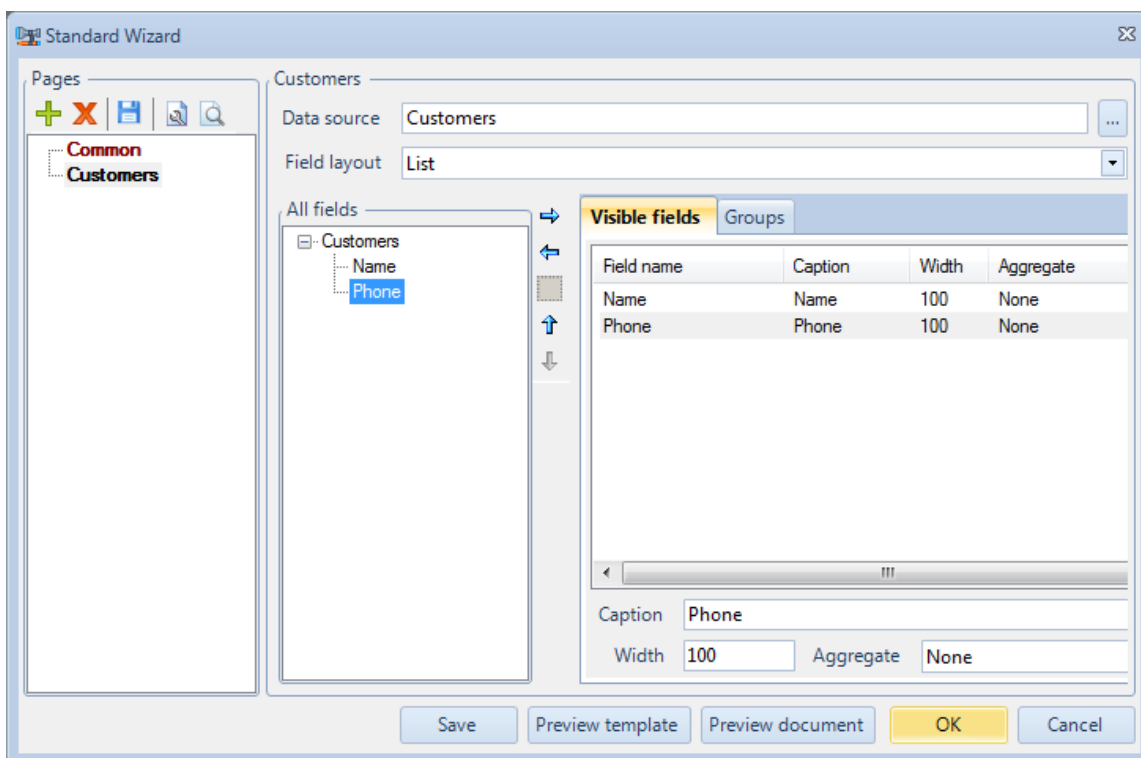
追加 (+) ボタンを使用してデータソースを追加します。



ボタンをクリックすると表示されるツリービューから、「Customers」をダブルクリックして選択します。



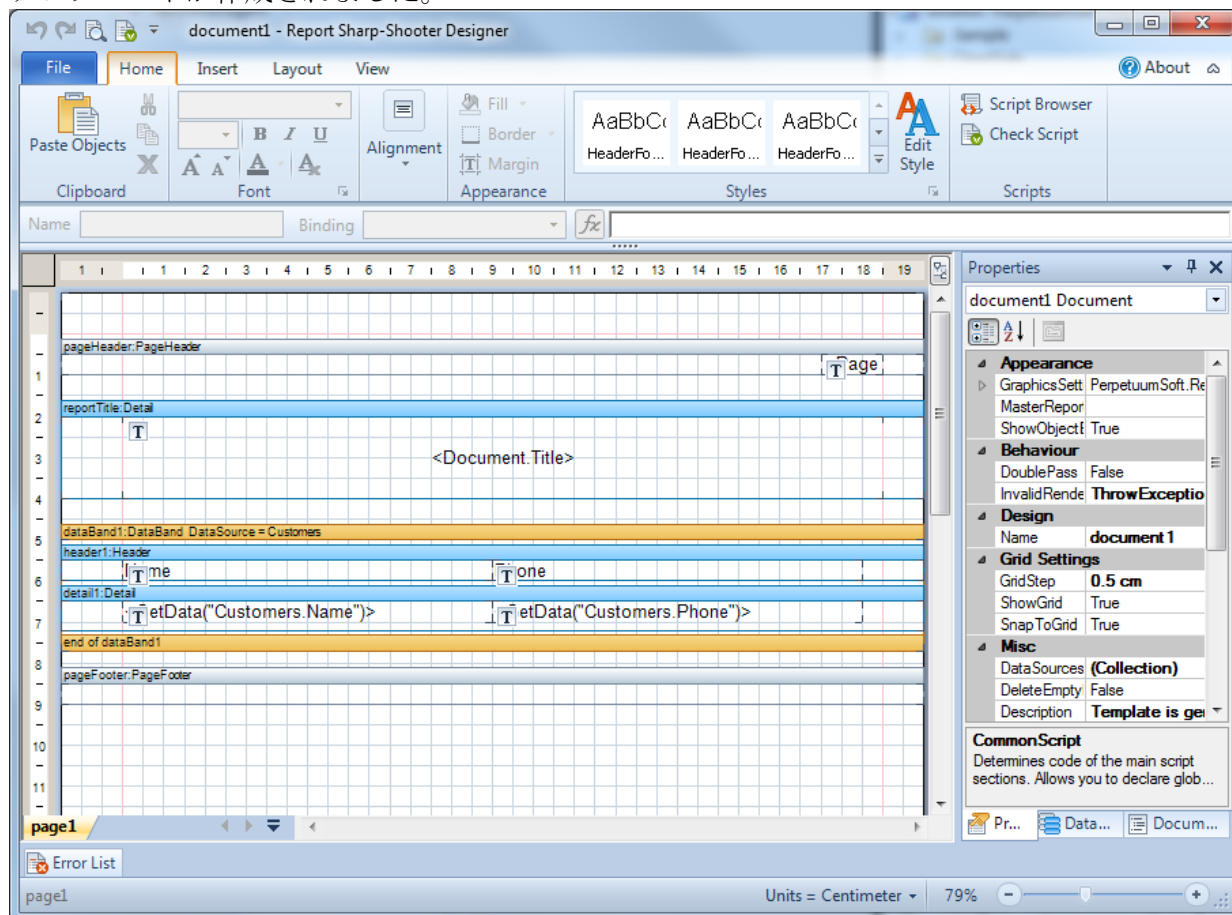
レポートに表示するフィールド（「Name」フィールドと「Phone」フィールド）を選択し、「表示フィールド」タブに移動します。



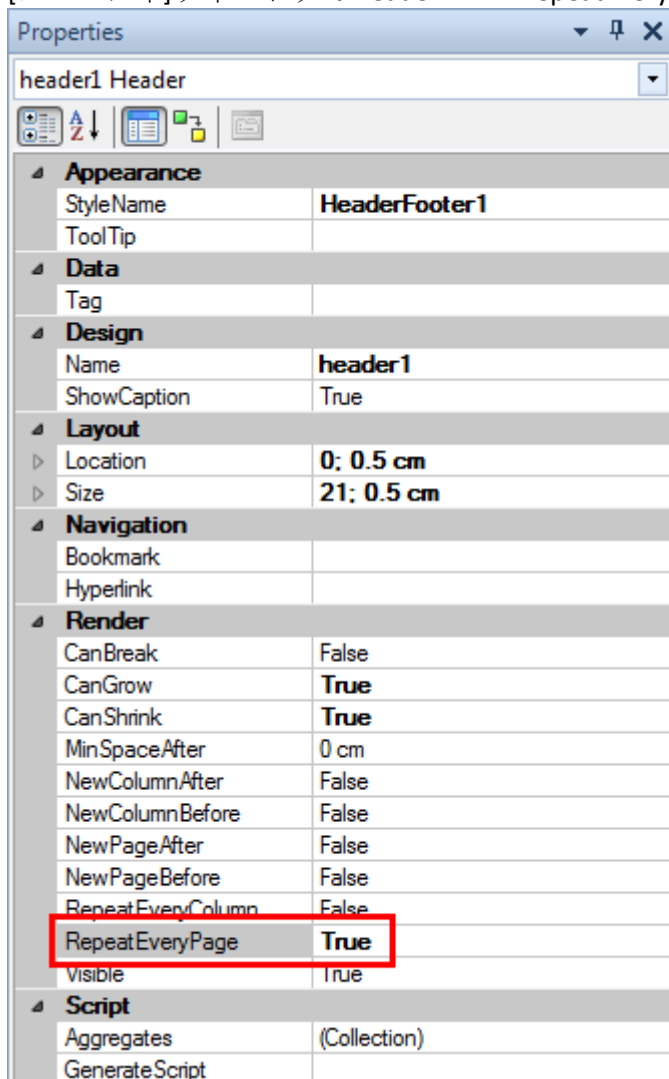
「OK」 ボタンをクリックします。

手順 8. レポート設定

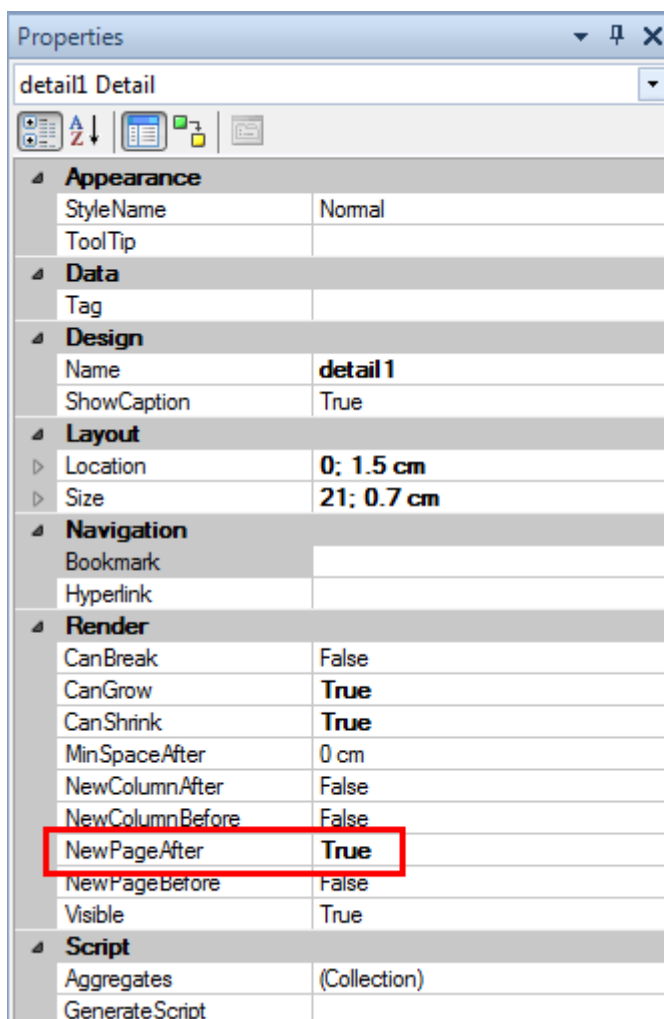
テンプレートが作成されました。



[プロパティ]ウィンドウで header1 の「RepeatEveryPage」プロパティを True に設定します。



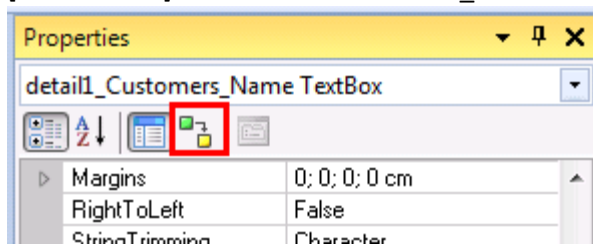
[プロパティ]ウィンドウで detail1 の「NewPageAfter」プロパティを True に設定します。



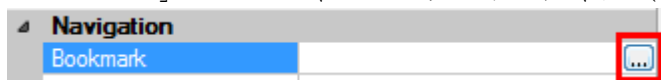
手順 9. ナビゲーションの追加

レポートにナビゲーションを追加します。レポート間の移動にブックマークのツリーを使用します。

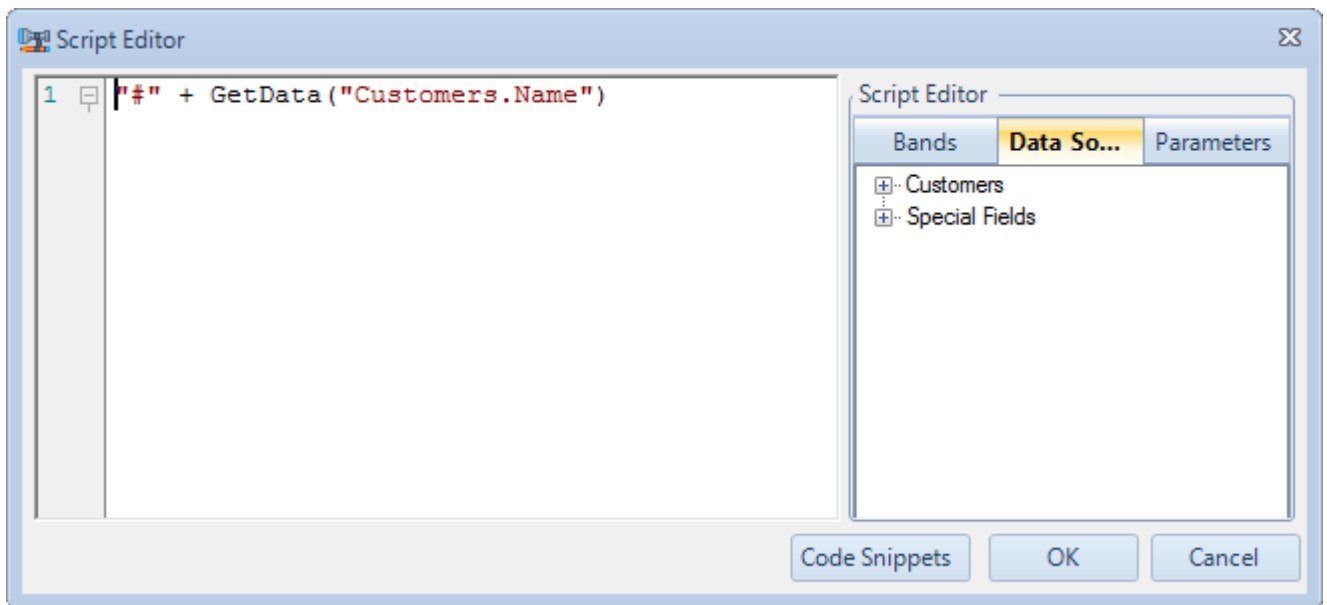
[プロパティ]ウィンドウで、detail1_Customers_Name のバインドを選択します。



「Bookmark」プロパティのスクリプトエディタ（ ボタン）を開きます。



スクリプトエディタに「#」を入力し、「データソース」タブのデータソース「Customers」を展開し、顧客名を取得するスクリプトコードを追加するために「Name」をダブルクリックします。



テンプレートを保存し、デザイナを閉じます。